

研究で林野庁長官賞
山(左)と吉田さん



可能性を指摘

藤島高生物部の2年生2人が、野生生物保護に関する環境省の発表大会で林野庁長官賞に輝いた。DNA分析を基に在来種のニホンイタチと、外来種のシベリ

藤島高生物部2人 環境省の大会で

イタチ研究 林野庁長官賞

国際的に活躍する人材の育成に向け、高校生の海外での探究活動を支援する官民協働制度「トビタテ！ 留学JAPAN 新・日本代表プログラム」の来年度の留学生受け付けが来年2月に行われる。全国から選ばれた700人が2週間から1年間の、自分で決めた留学先で社会問題やスポーツ、芸術などに関心のあるテーマに取り組む。同制度は2015〜21年度に

高校生海外で探究しよう 来年2月留学生受け付け

説明会 自由計画 先着

計3389人が利用しているが、県内は16人とどまっている。今回は県内から20人以上の応募があった場合、5人を優先的に採用する。学力や語学力は問わず、志望動機や留学先での活動などの書類審査と面接で選考する。留学先での活動は自由。希望の国や学校、期間を決め、高校を通して申し込む。締め切りは来年2月24日。現在の中学3年生は高校進学後の4月に応募でき

11月27日にNPO法人留学協会主催で、12月4日に同協会福井支部主催でオンライン説明会が開かれる。福井支部の説明会では中高生を対象に奨学金の仕組みや申請書の書き方、留学計画の立て方を紹介する。いずれも同協会のホームページなどからの事前申し込みが必要。問い合わせは同協会福井支部☎0776(24)7474。(西岡茉愉)

旋風

プロバ

かにした。福井ブローウィンズは、プロ野球やJリーグで集客や新規事業に携わってきたマーケティングマネジャー、ブランディング担当のマネジャーをそれぞれ招

見でしっかりと示したかった」と説明する。県内では野球の独立リーグ、日本海オセアンリーグの福井ネクサスエレファンツが今季限りで活動休止を発表。地方都市でのプロチ

くる県都にぎわい創生協議会が、同市中心部の市東公園を候補地に民設民営の計画を進めている。チームの湯本眞士代表取締役(50)は「アリーナの実現が大きなハードル」との認識を示す。

社長(40)も同席。アリーナ建設費は約75億円と見込まれ、「バスケットを盛り上げるにはB1昇格が必要。アリーナの建設にも積極的に参加していきたい」と出資に前向きな姿勢を示した。

ことを生物部で学び、研究テーマを設定。在来種と外来種の外観やDNAを比べるため、鯖江市や福井市自然史博物館に協力してもらい、県内で発見された固体の調査を続けた。DNAの塩基配列を詳しく調べたところ、母方がニホンイタチ、父方がシベリアイタチの雑種を発見した。同館学芸員によると、両種は染色体の形状が異なる

に白斑があるか」など二つの観点を加え、計三つの観点で見極める方法を提案。この方法の場合、ほぼ正確に両種を判別できることを証明した。シベリアイタチは家屋へ侵入することが多いことから狩猟対象に指定されており、2人は駆除を強化するよう訴えた。一方でニホンイタチのオスは現在、保護対象ではないため、個体数

県民の消防士受賞 酒井さん表彰

第24回 | 県民の消防士



優れた功績を挙げた消防職員や団体に授与される第24回県民の消防士(福井新聞社後援)の表彰式が25日、福井市の福井テレビであり、受賞した同市消防局の酒井啓輔消防司令(59)の長年の功績をたたえた。酒井さんは1986年に消防士となり、警防救助、管制、予防と幅広い業務に

選手有夢美山下

女子ゴルフの山が13日、千葉県で開かれたアスリート大会で1位となる

